



原田環境大臣夫人



栗原県会議長



中嶋県会議員

令和元年5月31日(金)一般社団法人朝倉介護保険事業者協議会総会が会場を松屋ガーデンパレスから甘木観光ホテル甘木館に移し開催されました。総会では、火野坂代表理事が挨拶され、新しい協議会スタイルの確立と来年の20周年事業への熱い決意を述べられました。

総会では、特別養護老人ホーム青壽苑山津真規子施設長が議長に選任され、各議案が承認多数により議決されました。又、功労者表彰では「認知症サポーター100万人キャラバン支援対象者」として社会福祉法人寿泉会、広報企画の上野徹雄様が表彰されました。その後の懇親会では来賓・会員の皆様とともに交流を深められ今年度の総会は幕を閉じました。



朝倉市林市長挨拶



坂田医師会長挨拶



キャラバンメイト表彰

## 代表理事就任挨拶

一般社団法人 朝倉介護保険事業者協議会 代表理事 火野坂 徹

いろんな組織も永く続いていくと、前任者と同じことを繰り返しやっていたら良い、間違いないという感覚になりがちです。しかし、前任者と同じことを繰り返していたら、組織の進化はありません。私も、昨年事業者協議会の会長に就任しての1年間を振り返ってみると、何もしないままに1年が経過したような気がします。今年度こそ、はっきりとした目標を立て、きっと皆さんのお役に立つ何かを作りたいと思っていますので、ぜひご協力お願いいたします。



協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://asakura.in>

朝倉介護

検索

## 令和元年度朝倉介護保険事業者協議会事業計画

### 【基本方針】

平成の時代が終わり、5月から新しい令和の時代が始まった。この令和時代は、どのような未来が待ち受けているのだろうか。少子高齢化の波は、音もなく迫り来ている。まさに令和時代は、超高齢化社会がピークを迎える時代である。

わが朝倉地域では、一人暮らしをしている高齢者や、高齢夫婦だけの世帯が多くみられる。一人暮らしにはカウントされていなくても、若者の多くは、昼間仕事のため家を空け、高齢者のみとなる世帯も多い。都市部に比べ、介護サービスなどの各種の住民サービスは、地形的、時間的に効率が悪いところが多い。地理的条件が関係している問題は仕方ないとしても、これからの時代、解決しなくてはならない社会問題は、身近に、数多く存在する。これらの多くは、本来、行政が関与し、解決すべき課題ではあるが、私ども一人一人が、「社会に貢献するのだ」という堅固な意識を持って、活動することが新しい時代への指針になると思う。

当協議会が誕生して、今年で20年を迎える。今年度は20年の節目として、特別記念事業を計画している。具体的事業計画は、まだ確定していないが、今後この協議会がさらに発展し、長く継続できるように、20周年記念事業の承認をいただき、会員の皆さんと共に特別記念事業を行いたいと考えている。

今年度も地域ニーズの充足とご利用者へ安心と満足を届けられるよう、より一層の有意義な全体事業、および部会活動を計画し、今後の医療・介護・福祉の更なる向上のため、会員間の相互連携に努め、住み慣れた地域に信頼される協議会になるよう次の事業に取り組んでいく覚悟である。

### 令和元年度新役員紹介

今年度は吉田真仁事務局長が退任され、新しく理事 樋口朋子氏が選任、総会にて承認されました。以下、11 専門部会長のご紹介をさせていただきます。皆様と一緒に協議会を盛り上げていきましょう！

<事務局長> (再)

樋口 朋子

医療法人社団 俊聖会  
法人事務局 主査



### 11 専門部会長

<p>&lt;居宅介護支援部会&gt; (新) 久保山 輝美 朝倉苑居宅介護支援事業所 管理者</p>	<p>&lt;訪問介護部会&gt; (新) 前田 敬 訪問介護事業所 ホットオアシス</p>
<p>&lt;訪問看護部会&gt; (継) 鶴田 真寿美 訪問看護ステーション けんせい 管理者</p>	<p>&lt;訪問リハビリ部会&gt; (新) 堀内 真由美 朝倉健生病院訪問リハビリテーション 作業療法士</p>
<p>&lt;福祉用具部会&gt; (新) 石丸 博章 有限会社 環彩 甘木・朝倉支店 管理者</p>	<p>&lt;通所介護部会&gt; (新) 鹿田 さとみ デイサービス アンローゼ 管理者</p>
<p>&lt;通所リハビリ部会&gt; (新) 平山 千代子 介護老人保健施設 サンビレッヂ朝日ヶ丘 主任</p>	<p>&lt;居宅療養管理指導部会&gt; (継) 熊本 正史 くまもと内科医院 院長</p>
<p>&lt;グループホーム部会&gt; (新) 藤村 駿介 介護付有料老人ホームさわやかみづみ館 管理者</p>	<p>&lt;介護老人福祉施設部会&gt; (新) 別府 千恵子 社会福祉法人 朝老園 主任生活相談員</p>
<p>&lt;介護老人保健施設部会&gt; (新) 穴井 雅暢 介護老人保健施設ふじ 事務長</p>	

# 令和元年度 朝倉介護保険事業者協議会 事業計画

## 〈全体事業〉

### 1. 認知症サポーター養成講座への活動支援

- ・目的 朝倉地域行政の「認知症サポーター養成講座」への支援を行い、行政と協働で「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を推進する。
- ・対象者 キャラバン・メイト、一般住民
- ・内容等 キャラバンメイトの状況把握活動、認知症サポーター養成講座へのキャラバン・メイト支援、キャラバン・メイトフォローアップ研修開催等メイト支援、キャラバン・メイトフォローアップ研修開催等

### 2. 褥瘡予防研究会

- ・テーマ ～朝倉地区の褥瘡0を目指して～
- ・目的 朝倉地域における訪問系・通所系・施設における事業所職員の連携強化、褥瘡予防に関する知識・技術のスキルアップを図るとともに、地域利用者への還元へ寄与する。また、今後も継続活動していけるように運営スタッフの育成を図る。
- ・内容等 行政・医療・介護の枠を越えた地域還元ネットワークづくり、ノウハウ習得のための勉強会開催等

## 〈運営部事業〉

### 1. 総会の開催

- ・時期 5月〔令和元年5月31日（金）〕
- ・内容 平成30年度事業報告・決算報告 役員選出 令和元年度事業計画（案）・予算（案）

### 2. 朝倉地域行政・介護保険事業者協議会の連携強化

- ・時期 10月
- ・内容 会員事業者、介護保険利用者（地域住民等）の意見等をまとめ、地域包括ケアシステムを視野に入れた行政・医療機関との連携協議

### 3. 朝倉地域行政・朝倉三師会・介護保険事業者協議会の連携強化

- ・時期 12月
- ・内容 行政指針・地域在宅医療を含めた医療と介護との連携協議

### 4. 運営会議の開催

- ・時期 毎月第3水曜日・内容 運営会議議題、各専門部会活動等の報告・調整

### 5. 合同専門部会の調整

- ・ケアマネと医師他 居宅介護支援・居宅療養管理指導
- ・訪問系 訪問介護・訪問看護・訪問リハビリ・福祉用具
- ・通所系 通所介護・通所リハビリ
- ・施設系 介護福祉施設・介護老人保健施設・グループホーム

### 6. 地域内外交流会・事業者間交流会の調整

### 7. 会員名簿の作成・発行（6月）

## 〈研修部事業〉

### 1. スタッフセミナーの開催

- ・対象者 全事業所のスタッフ
- ・場所 朝倉総合市民センター（ピーポート甘木）
- ・時期 年4回（6月、9月、11月、2月）を予定
- ・内容 接遇マナー、認知症ケア、感染症予防対策等

## 〈広報部事業〉

### 1. 会報誌の発行

- ・対象者 会員事業所、特別会員、関係行政機関他
- ・内容 季刊誌としての会報の作成と発送
- ・時期 年4回（6月、9月、12月、2月）を予定

### 2. 各行事の取材・内容 会報用（記事・写真）

### 3. 協議会ホームページの維持・管理

## 〈専門部会事業〉

### 1. 部会（11部会）ごとに別途事業計画を立て実施・・・添付資料I・II

## 〈その他〉

運営会議にて承認される事業

## 令和元年度 「11 専門部会」 事業計画

《一般社団法人朝倉介護保険事業者協議会》

部	数	部会名	事業計画
居宅部門	1	居宅介護支援部会	1) 定例部会開催 (4・7・10・1月) 情報・意見交換会、勉強会 2) 研修会開催 (4・7月) 「薬局との連携について」他 3) 事業所管理者研修会開催 (年3回)
	2	訪問介護部会	1) 定例部会開催 (6・9・12・2月) 情報・意見交換会、勉強会 2) 研修会開催 (9月)
	3	訪問看護部会	1) 定例部会開催 (4・8・12・2月) 情報・意見交換会、勉強会 2) 研修会開催 (6月) 3) 合同部会開催 (10月)
	4	訪問リハビリ部会	1) 定例部会開催 (4・8・12・2月) 情報・意見交換会、勉強会 2) 症例報告会開催 (8・12月) 3) 合同部会開催 (10月) 研修会
	5	通所介護部会	1) 定例部会開催 (6・9・11・2月) 情報・意見交換会、勉強会
	6	通所リハビリ部会	1) 定例部会開催 (5・9・2月) 情報・意見交換会、勉強会
	7	福祉用具部会	1) 定例部会開催 (4・8・11・2月) 情報・意見交換会、勉強会 2) 褥瘡予防研究会 (年4回) 3) 褥瘡予防講習会 (年4回)
	8	居宅療養管理指導部会	各部会との情報交換会 (随時開催)
	9	グループホーム部会	1) 定例部会開催 (5・2月) 2) 研修会開催 (7・10月)
施設部門	10	介護老人福祉施設部会	1) 定例部会開催 (6・10・2月) 2) 合同部会開催 (8・12・3月) 3) うぐいす会会議開催 (年6回)
	11	介護老人保健施設部会	1) 事務長会 (6・2月) 2) 職種別部会 (7月) 3) 部会勉強会 (11月) 4) あさくら食文化を学ぶ会 研修会 (5・10月) 5) あさくら食文化を学ぶ会 会合 (7・2月)

## 部会活動報告

### 居宅介護支援部会

朝倉苑 居宅介護支援事業所 久保山 輝美

現在、私達居宅介護支援部会は 20 事業所で活動を行っています。  
活動の内容としましては、年、3 回から 4 回の研修会を実施しており、昨年度は災害をテーマに、地域包括支援センターからの体験報告をもとにグループワークを行いました。

また、医療と介護の連携をテーマにした研修や行政との意見交換会なども実施してきました。

今年度の研修内容については、各居宅介護支援事業所からのアンケートで災害をテーマにした研修を実施してほしいという要望も多くあり、昨年度の研修内容を踏まえて、災害についての対応や課題などについて研修を深めていく予定です。

さらに医療と介護をテーマにした研修も引き続き実施していきたいと考えています。

また、昨年度より各居宅の管理者での研修会を発足し、年約 3 回の集いの中で様々な居宅内での悩みや感じていることなどを話し合い、事業所同士の連携を図る場となっています。

社会情勢が大きく変動していく中で、地域のケアマネジャーとしての役割を認識したうえで、各関係機関との連携を深めて地域高齢者の暮らしを支えていけるように、これからも部会としての取り組みを行っていきたいと考えています。



## My Way

### アルファ俊聖事務長兼リハビリセンター長の 安 勇喜さん

今回ご紹介させていただくのは、アルファ俊聖事務長兼リハビリセンター長として精力的に活動されてある安勇喜さんです。ご出身は徳之島。元々医療界に興味のあった安さんは、徳之島の施設で看護師をなさっているお母様の「リハビリの必要性を強く感じているのに入居者様にリハビリできなかった」という想いに答えるように理学療法士の道に進まれました。熊本リハビリテーション学院で沢山の求人の中から「急性期リハビリから老健・療養・在宅までこの法人でリハビリの全部を勉強できる」と俊聖会に就職を決められました。一人のPTとして何ができるのか、いい部分も悪い部分も肌を感じてわかるところがやりがいであり、利用者さんを通じてケアマネージャーさんや多職種の沢山の人の人に支えられて仕事ができると真摯に話してくださいました。今回インタビュー期間に事務長職に就任されることが決まられ、今からどのような形で地域に貢献できるのか課題であり「おかげさまで」の精神で頑張っていくと語ってありました。他に 15 年ほど福岡県理学療法士会筑後 1 地区部長をされたり、県の代議員として県理学療法士会に参加されたりとても多忙に過ごされてあります。プライベートでは毎週日曜日ソフトボールで 1 番センターとして駿足を活かして活躍。法人内の野球部でも活動されています。男の子 2 人の父親でもあられるため、多忙な中でもどうにかして子供に時間を使いたいと家族想いのパパの顔も見せて下さいました。とても謙虚でパワーあふれる安さんの今後のさらなるご活躍を応援しています。



紹介文：甘木中央病院訪問看護ステーション 管理者 柴田 恵

今回は安さんからの紹介で「甘木中央病院訪問リハビリ 高村 希望さん」です！

※尚、今回の Hobby Box はお休み致します。

## 介護スタッフリレーコラム

### 「自分らしい生活に寄り添うこと」

訪問看護ステーションけんせい 鶴田 真寿美

訪問看護に携わるようになって7年半が経ちました。その前に5年間ほどケアマネとして在宅療養をされている方を支援させて頂いていましたが、その時より利用者の方との距離はずっと近くなったように感じます。実際に、足浴や清拭、マッサージなどの心地よいと感じるケアを行うことで、訪問を「待ったよ」「気持ちいい」と声をかけてもらうことや、笑顔を返してもらうことができ、何とも言いようのない嬉しさを感じています。

私たちが訪問する方々は、病気による苦痛があり、それを支える家族には、どうしたらいいのか、どうして私が…といった不安やストレスを抱えている方が多くいらっしゃいます。その生活の中で、少しでも「今日は気分がいいから〇〇をしてみよう」とか、したいことに取り組んでみようと感じてもらう為には、私たちに何ができるのか、どうすれば安心・安楽となり自分らしい生活ができるのかと問い続けていくことが、訪問看護の永遠のテーマなのだと感じています。また、利用者の方やご家族の笑顔が、自分にとってのやりがいでもあり、エネルギーにもなっていると強く感じています。

## 徒然日記

朝倉健生病院訪問リハビリテーション 堀内 真由美

### 「平成」から「令和」へバトンタッチ！！

今年の5月、新元号「令和」へと改元され新しい時代が始まりました。

新元号「令和」の由来とは万葉集「梅花の歌」が出典元とされています。万葉集とは奈良時代の日本最古の歌集で天皇や皇族、歌人、さらに農民など幅広い階層の人々が読んだ約4500首の歌が収められている歌集です。豊かな文化と伝統の象徴である国書とも言われています。

「梅花の歌」(万葉集入門より引用)  
～初春の令月にして 気淑く風和ぎ 梅は鏡前の粉を  
披き 蘭は珮後の香を薫す～  
この歌から新元号「令和」が引用されています。  
「令」と「和」  
「令」・・・「初春の令月」 何事をするにも良い月。めで

たい月。

「和」・・・和やかで調和がとれている。物事が安定しておさまっている。日本のこと。

この梅花の歌の作者は大伴旅人(おおとものたびと)といわれています。大伴旅人は飛鳥時代から奈良時代に活躍した歌人で大宰府長官でもありました。

梅の開花とともに春の訪れを喜んだ内容で「春の訪れを告げ見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望と共にそれぞれの花を大きく咲かせることができる。日本の四季折々の文化を次世代に引き継ぐという思いが込められています。

新年度、気持ち新たに「令和」を迎え、朝倉にも今、時代が動く新しいエネルギーに満ち溢れているように思えます。

## 編集後記

5月より令和元年がスタートしました。今年度の総会で火野坂会長が挨拶されました通り、来年度は当協議会が20周年を迎えます。そして、さっそくプロジェクトチームが発足し、記念行事の計画を進めて参ります。例年の記念行事は、著名人の講演等に力を注いで参りましたが、20周年では今までにない面白い企画をしようと会長はじめ役員全員で意気込んでいます。どんな意見でも構いません。皆さんからのご提案をお待ちしています！  
(広報部：真田)

### 事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局  
〒838-0068 福岡県朝倉市甘木199-1  
医療法人社団 俊聖会  
介護老人保健施設 アルファ俊聖  
TEL 0946-22-5551 FAX 0946-24-4688

### 編集／発行所

朝倉介護保険事業者協議会  
〒838-1315 福岡県朝倉市入地2262-1  
社会福祉法人 朝倉恵愛会  
いしずえ荘 在宅部  
TEL 0946-23-8823 FAX 0946-23-8813  
印刷／井上総合印刷株式会社